

11月24日：VN指数は6日続伸

昨日は売り買いが交錯する展開となったが、後場に買い圧力が高まり、売り圧力を相殺して続伸した。ホーチミン取引所のVN指数は0.16%上昇し、995.76ポイントで引けて6日続伸となった。

相場は不安定で0.93%下落する場面もあったが、反発して終えた。VN指数は直近5日で4.56%上昇しており、1,000ポイントに近づくとつれて利食い圧力が増大している。多くの証券会社は1,000ポイント付近が抵抗線となり、調整が起こることも警戒している。

大型株で構成するVN30指数は0.04%下落し、959.61ポイントで引けた。

VN30銘柄のうち、18銘柄が下落したのに対し9銘柄が上昇した。

消費関連のMSN、石油・ガスのGAS、小売のMWG、格安航空のVJC、ビールメーカーのSABなどが下落した。

12月17日限のVN30先物は0.48%上昇し964ポイントを付け、投資家が短期的に強気であることを示している。

住宅用不動産のVHM、製糖のSBTがそれぞれ+4.0%、証券のSSIが+5.7%など堅調だった。

多くの大型株が下落したのに対し、中小型株は上昇し投資家の注目を集めた。

ホーチミン取引所の中型株指数と小型株指数はそれぞれ0.4%、0.04%上昇した。

VN指数は昨日985ポイントを割る場面もあったが、力強い買い需要から反発したとBIDV証券はデイリーレポートで述べている。

外国人投資家が買い越しに転じたことも市場にはポジティブなシグナルとなるだろうと同社は述べている。

昨日外国人投資家は5日連続で買い越し、買い越し額は1,340億ドンに上った。

5日間の合計買い越し額は1.26兆ドン（約54百万ドル）となる。

VN 指数は今後数日、1,000 ポイント付近で交錯する展開となるだろうと BIDV 証券は見ている。

ハノイ取引所では、HNX 指数が 0.40% 下落し、147.58 ポイントで引けた。

同指数は過去 5 間で 3.36% 上昇していた。出来高は 6 億 2,850 万株、売買代金は 13.66 兆ドンだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。